

「日本画入門教室」～初夏の花を描く～

日本の伝統的な絵画「日本画」。古く、中国・朝鮮から影響を受けながら日本で発達し、絹や紙に毛筆で描き、主として岩絵の具（顔料）を用いる独自の様式を有する絵画です。

今回は、「絵が好き」「日本画に興味がある」「絵を描いてみたい」という初心者を対象に、日本の自然風土に適合した絵画表現を「初夏の花」で楽しみます。



＜日 時＞ 5月18日、6月1日、15日、29日、7月6日
全5回 いずれも木曜日 13:30～15:00

＜場 所＞ 名越やすらぎセンター（材木座2-15-3）
※市役所13:00発のマイクロバスをご利用ください。

＜内 容＞ ①絵の理論と写生→②構図決めと下図描き→
③下塗り→④下塗り→⑤彩色と仕上げ

＜対 象＞ 60歳以上の鎌倉市民 先着12名

＜講 師＞ 澁谷 白峰 さん
須加五々道に師事
日本画「絹の会」会員
年1回銀座にてグループ展を開催



＜材料費＞ 4,000円（顔彩12色、筆2本、麻紙ボード、他）

＜申込み＞ 名越やすらぎセンター ☎25-1188 まで
※5月1日受付開始、10日までにお申込みください。